

上越市道側溝施工マニュアル

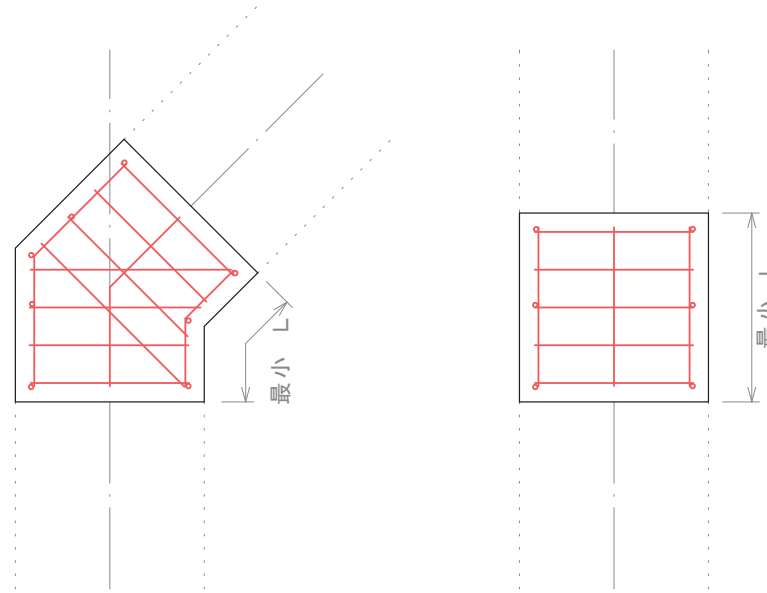
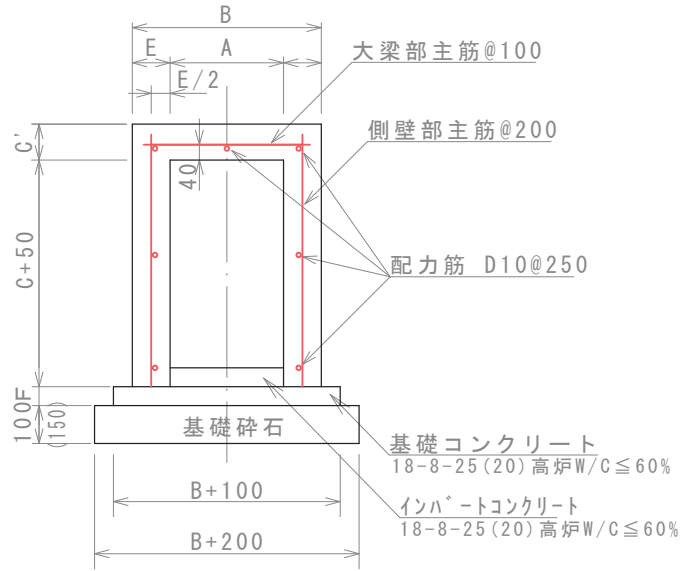
このマニュアルは、上越市道の側溝を施工する場合に適用するものです。

1. 道路の構造物等が境界（市道区域）を越えて民地内に設置することはできません。側溝は原則として官民境界沿いの官地側に設置し、集水桝等の構造物も官地内に設置してください。
2. 側溝渠底の縦断勾配は0.3%以上を確保してください。なお、部分的な側溝の入替え等を行う場合は現況の勾配に合わせて施工してください。
3. 排水機能を確保するため、側溝の内空寸法は製品寸法より小さくすることは原則できません。また、自由勾配側溝の深さ（内空高）は原則として30cm以上を確保し、内空幅60cm以下の自由勾配側溝は、深さを内空幅の2倍以下にしてください。それ以外は、事前に道路管理者と協議をしてください。
4. 側溝の割付けは二次製品（自由勾配側溝、プレキャストU型側溝等）の配置を優先し、調整部分は端部又は輪荷重の影響を受けにくい箇所に配置のうえ、事前に道路管理者と協議をしてください。
5. 道路横断部や車両乗入れ部以外で、やむを得ず二次製品を切断する場合は、事前に道路管理者と協議をしてください。
6. 自由勾配側溝の曲線部等で目地の隙間が3cm超える場合は、別紙（自由勾配側溝 現場打標準図）のとおり現場打ちの道路側溝にしてください。また、プレキャストU型側溝の場合も同様とし、側壁の厚さは製品の全幅と合うように寸法を読み替え、渠底と内壁の形状についても製品に合わせてください。なお、二次製品の蓋と現場打ち側溝の梁の厚さが異なる場合でも支障はありません。
7. 側溝の曲線部等で目地の隙間が3cm以下の場合で目地からの漏水によって民地側への影響が懸念される場合は、事前に道路管理者と協議のうえ、官地内で側溝目地の外部に保護コンクリートを設置する等の措置を行ってください。また、集水桝と側溝等との接続部についても適切な漏水対策を講じてください。
8. 自家用等の乗用自動車、最大積載量2トン以下の貨物自動車等の乗入れ部であっても、自動車の出入り回数が多い場合や駐車場等の敷地内除雪を重機によって行う場合は、横断用の側溝（角欠け防止用のアングル補強付き）を使用してください。
9. 側溝の蓋は二次製品の使用を原則としますが、二次製品が使用できない箇所では現場打ちの側溝蓋とすることができます。なお、ツバ付きグレーチング蓋や縞鋼板は市が管理する側溝蓋としては設置することができません。また、コンクリート蓋を設置する場合は、車道・歩道ともに5mごとに嵩上げグレーチング蓋を配置し、並目グレーチング蓋を使用する際は盗難抑止金具を取り付けてください。

附則

令和8年4月1日以降から適用する。

自由勾配側溝 現場打標準図 1



使用コンクリート
粗骨材最大寸法 $G_{max}=25mm$
使用鉄筋 SD295A

参考

標準部 現場打寸法・配筋表

単位：mm

呼び名 A(巾)×C(深)	全幅 B	側壁厚 E	梁厚 C'	最小長さ L	コンクリート 設計強度 σ_{ck}	大梁部 主筋径	側壁部 主筋径	基礎C0厚 F
300×1100以下	500	100	95	400	30N	D10	D10	50
			125	200	24N	D13		
400×1200以下	610	105	110	500	30N	D10		
			150	200	24N	D13		
500×2000以下	720	110	125	300	30N	D13	D13	100
			165	200	24N			
600×2000以下	830	115	140	300	30N			
			180	200	24N			

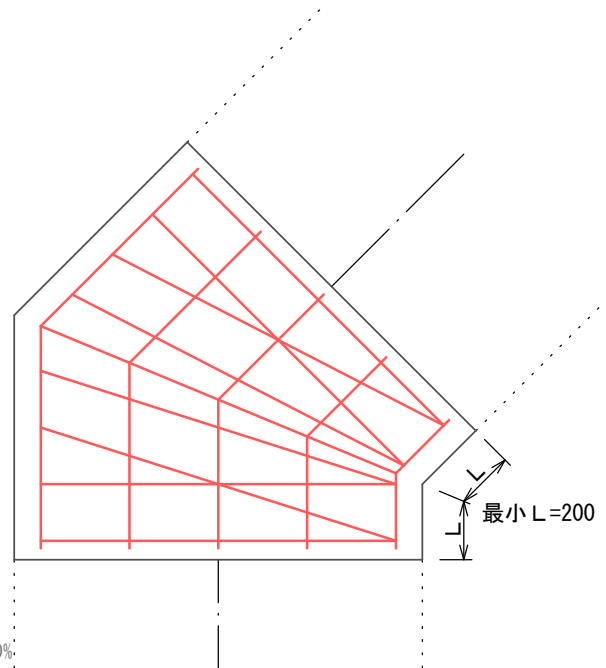
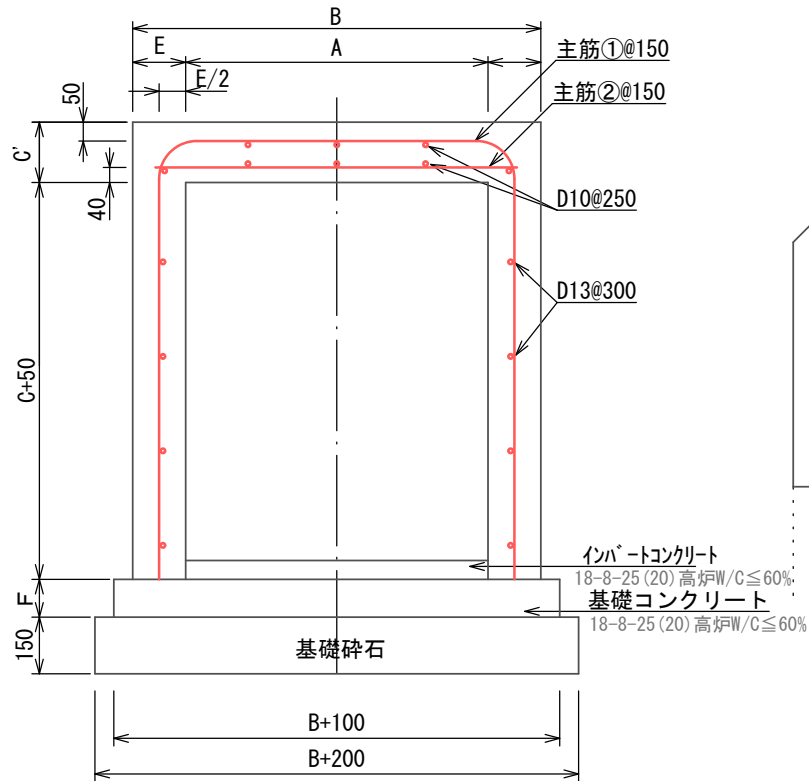
横断部 現場打寸法・配筋表

単位：mm

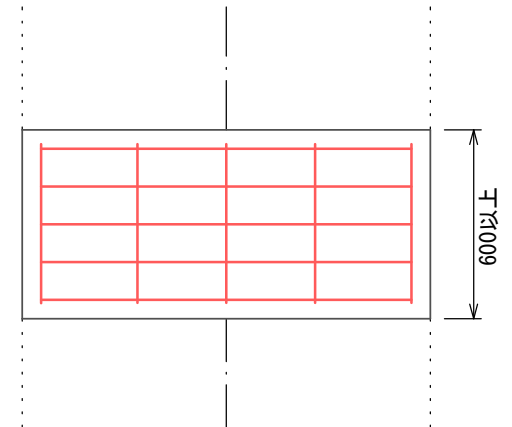
呼び名 A(巾)×C(深)	全幅 B	側壁厚 E	梁厚 C'	最小長さ L	コンクリート 設計強度 σ_{ck}	大梁部 主筋径	側壁部 主筋径	基礎C0厚 F
300×1100以下	520	110	110	450	30N	D13	D13	100
			145	250	24N			
400×1200以下	630	115	125	400	30N			
			160	250	24N			
500×1400以下	750	125	140	350	30N	D16	D13	150
			175	250	24N			
600×1500以下	860	130	155	350	30N			
			195	250	24N			

基礎砕石厚
(150)

自由勾配側溝 現場打標準図 2



使用コンクリート
設計基準強度 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
粗骨材最大寸法 $G_{max}=25\text{mm}$
使用鉄筋 SD295A



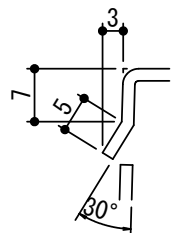
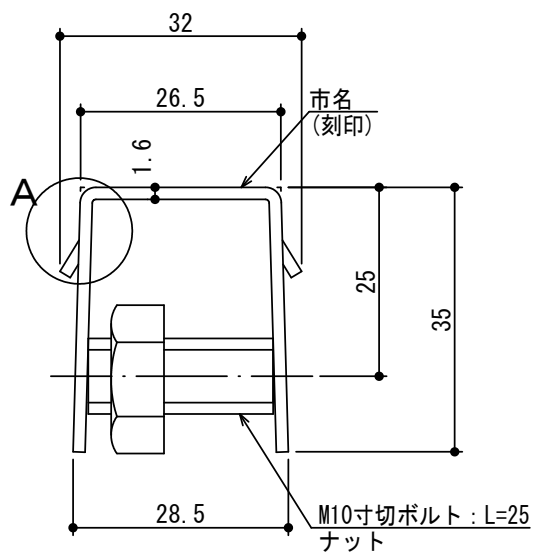
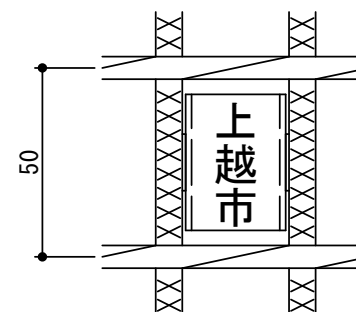
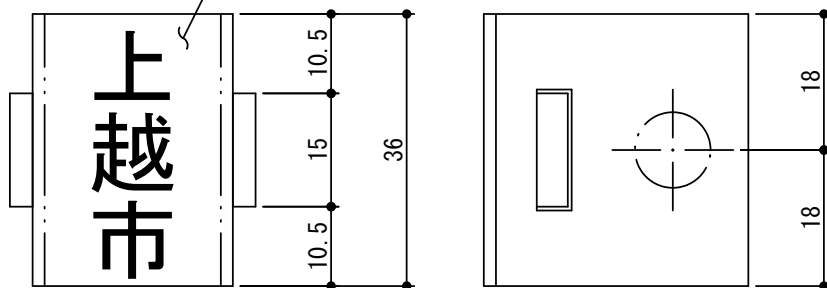
参考

標準・横断部 現場打寸法・配筋表

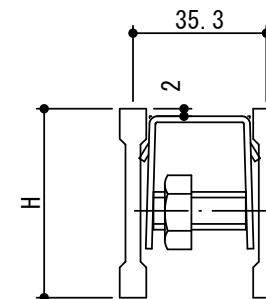
単位: mm

呼び名 A(巾) × C(深)	全幅 B	側壁厚 E	梁厚 C'	大梁部		基礎C0厚 F
				主筋①径	主筋②径	
700 × 1700以下	970	135	150	D13	D16	100
800 × 1800以下	1080	140	160			
900 × 1900以下	1190	145	170			
1000 × 2000以下	1300	150	180			150

盗難抑止金具：PL1.6t
(高耐食性メッキ鋼板)



A部詳細



取付図

記事

1. 材質 高耐食性メッキ鋼板

金具詳細付図

SCALE 1/1

上越市タイプ

[UNVS300用] [PU3-300用]
盗難抑止金具詳細図
H=50~100 (35.3ピッチ用)